

今こそ！笠間育ち⑥

安心、新鮮、おいしいを支える地元農業の紹介コーナー。食の安全が第一に求められ、農産物への関心もますます高まる今こそ、地元農家の実力発揮のとき！



◀鈴木良平さん（左）・俊子さん（右）（長兎路）

栽培暦40年という鈴木さんの栗園は、第26回（平成18年）全国クリ研究大会の現地視察の対象となるほどで、整然としていて大変美しいです。

収穫時期の約50日間は、雨でもないかぎり栗園に来て、朝から夕方まで手作業で栗の実を拾うそうです。「畑が職場。お勤めの人と同じように栗山に通う。」と話していました。



▲整然とした栗園

笠間市では、市内の栗生産者、菓子業者、陶芸家など各分野で構成する「笠間の栗を考える会」を組織し、笠間の栗のより一層の生産振興と消費拡大を図ることを目的に、生産、消費、流通、加工、食文化等の多様な観点から、笠間の栗をメインとした地域振興に向けた活動をしています。

このコーナーで紹介された生産物については、本所農政課（内線525）にお問合せください。

全国有数の産地 笠間の栗

栗の木。身近すぎて気が付かないこともあります。改めて市内を見てみるとその多さに驚かされます。笠間市全体の栽培面積は827㍓。県内一の栽培面積を有し、青果物銘柄推進産地に指定され、全国でも有数の産地となっています。出荷時期は8月下旬から10月下旬まで。これからがまさに旬です！



こぼれ落ちそうな実（品種：大峰）▶

市民憲章

わたしたち笠間市民のねがい ～笠間市民憲章～

笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう
 健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう
 歴史と文化を大切にし、豊かでうるおいのあるまちにしよう
 思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう
 きまりを守り、安心でやすらぎのあるまちにしよう

平成19年1月1日制定

【広報ギャラリー】市民の皆さんの作品を募集しています

「広報かさま」では、絵画・書道・俳句・短歌・写真・イラストなど、皆さんのお気に入りの作品を紹介しています。住所・氏名（ペンネームの場合、本名も併記）を記入してお送りください。

申込み・問合せ先：〒309-1792 笠間市中央3-2-1 笠間市役所市長公室秘書課 広報広聴グループ（内線224）

人口と世帯数（常住人口8.1 現在）

●人	口	80,560人（+48人）
	男	39,406人（+24人）
	女	41,154人（+24人）
●世帯数	28,006世帯（+67世帯）	（前月比）

○広報かさまに掲載されているあなたの写真を差し上げます。お問合せは秘書課（内線225）まで。



再生紙を使用しています。

○市ホームページモバイル版では、行政・災害などのさまざまな情報をお届けしています。アドレス

<http://www.city.kasama.lg.jp/mobile/>

